

TOPIC
4 薪農作業 PC解体 箱折り ジャム作り 草取り
みらいコンパニー

地域と歩んだ挑戦が実を結び、銀賞を受賞

山梨県では障害のある方の工賃向上に直結する優れた取り組みや創意工夫をこらしたユニークな取り組みを実施している就労継続支援B型事業所を表彰する「やまなし工賃向上アワード」を実施しています。みらいコンパニーは初めて応募し、銀賞を受賞することができました。メンバーさんの強みを活かした取り組みや地域住民や地域産業との連携を大切にしながら地域特性を活かした実践の評価ではないかと思います。

薪作業や農作業・農福連携、パソコン解体、箱折り作業など、様々な作業に対してメンバーさんが主体的に関わり、生きがいを感じながら、地域づくりにつながる活動を取り組んできました。

これからも地域課題にアプローチしながら、工賃向上、自己肯定感、自己実現を意識しながら持続可能な事業になるように努力していきたいと思います。



Thanks いつもありがとうございます。

ボランティアで来て下さった方々

青柳 拓 梶原 誠 加藤 みかこ
功刀 多美子 栗原 早苗 島崎 進
山口 まゆみ 山本 美代子
※敬称は略させていただきます



寄付でご協力いただいた方々

有泉 公彦 一之瀬 康人 伊藤 太一
伊藤 渉 梅原 克和 小倉 美咲
長田 忠孝 川上 真美子 高根 萌
立川 真弓 田中 真 土師 賢也
虹の谷 水越 悠介 宮崎 幸美
横山 浩子
※敬称は略させていただきます

皆さまのご協力に感謝し、
これからもこの良いご縁が続くよう
努力してまいります。

苦情解決の案内

2025年7月から2026年1月までに苦情によるお問い合わせはありませんでした。さかき会では利用者の方が安心して過ごせるよう、苦情解決のための体制を整えています。苦情以外にもお気づきな事がありましたら、遠慮なくお申し出ください。



社会福祉法人さかき会広報誌

こんばにい Conpagnie

発行元

社会福祉法人さかき会
理事長 横内 正彦
〒400-0312
山梨県南アルプス市上宮地1143
TEL:055-283-7733
FAX:055-283-7735
E-mail: mirai@sakakikai.com

Vol.54
Since 1999



しあわせの創造を地域と共に



SAKAKIKAI

SAKAKIKAI
SINCE 1999

障害福祉サービス事業所

『みらいコンパニー』

〒400-0312

山梨県南アルプス市上宮地1143

TEL/FAX 055-283-7733 FAX 055-283-7735

E-mail: mirai@sakakikai.com

*生活介護事業・就労継続支援事業B型・就労移行支援事業

障害福祉サービス事業所

『みらいファーム』

〒409-3861

山梨県中巨摩郡昭和町紙道岡原1808-2

TEL/FAX 055-275-6555

E-mail: mirai-farm@sakakikai.com

*生活介護事業・就労継続支援事業B型

共同生活援助

『みらいホーム』

〒400-0222

山梨県中巨摩郡昭和町飯野3574-8

TEL/FAX 055-283-7733

E-mail: mirai@sakakikai.com

*生活介護事業・就労継続支援事業B型

相談支援事業所

『みらいホーム』

〒400-0308

山梨県南アルプス市山寺1095-5

TEL/FAX 055-225-4478

E-mail: pocket@sakakikai.com

*生活介護事業・就労継続支援事業B型

放課後等デイサービス

『ぼけっとはうす』

『あそぼ』

『でんぐんはうす』

〒400-0308

山梨県南アルプス市山寺1095-5

TEL/FAX 055-225-4478

E-mail: asobo@sakakikai.com

TOPIC
1 理事長挨拶
社会福祉法人さかき会

かすかな光へ～学び続ける人生として～

皆様には、長年にわたり本会の障害福祉サービス提供事業に対し、深いご理解と多大なるご協力を賜り、役職員一同、心より厚く御礼申し上げます。

さて私事ではございますが、本年3月に満83歳を迎えるにあたり、これまでの人生を振り返る機会が増えました。その折、2024年11月に92歳で逝去された詩人・谷川俊太郎氏の詩「かすかな光へ」が、今もなお私の心中に強く刻まれております。

「あかんばは歯のない口でなめる、やわらかい小さな手でさわる、なめることさわることのうちに、すでに学びがひそんでいる、あかんばは嬉しそうに笑っている、言葉よりも前に、波立つ心にささやかな何故?が芽生える、何故どうしての木は枝葉を茂らせ、花を咲かせ四方八方に根をはって、決して枯れずに実りを待つ、子どもは意味なく駆け出でて、つまずき転び泣きわめく、にじむ血に誰のせいにも出来ぬ痛みに、すでに学びがかくれていて、子供はけろりと泣き止んでいる、私たちは知りたがる動物だ、たとえ理由は何ひとつなくても、何の役にも立たなくとも知りたがり、どこまでも闇を手探しし問いつづけ、かすかな光へと歩む道の疲れを喜びに変える、老人は五感のもたらす喜怒哀楽に学んできた、際限のない言葉の列に学んできた、変幻する万象に学んできた、そしていま自分の無知に学んでいる、世界とおのが心の限りない広さ深さを」。

人は生まれてから老いに至るまで、問い合わせ、学び続けながら歩む存在であり、この詩はその根源的な姿を静かに、そして力強く教えてくれているように思います。

私自身もまた、この先もずっと「かすかな光」を求めて歩みながら、社会福祉に携わる者として、一人の人間として、これからも学びを重ねてまいります。

結びに、皆様におかれましては、今後とも本会の活動に対し、変わらぬご理解とご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



社会福祉法人さかき会
理事長 横内 正彦

TOPIC
3 農作業 花作業 さをり織り ポール洗い ショップ事業
みらいファーム

心をひらく小さな仲間～パペットがつなぐ笑顔の輪～

パペットセラピーには、人の心をふんわりとほぐしてくれる力があります。これまであまり表情を見せなかつたメンバーさんが、自らパペットを手に取り、「おはよう」と明るい声を聞かせてくれました。

その姿は、パペットがそっと背中を押し、心の奥にしまっていた気持ちにやさしく寄り添い、言葉になりきれない思いを、そっと運んでくれたように感じられました。

美術館でのワークショップ発表では、自然と笑顔が広がり、参加した方々のあいだに会話が弾みました。年齢や立場を越えて交流が生まれ、会場全体があたたかな空気に包まれました。

パペットは、安心感を届け、人と人をつなぐ小さなコミュニケーションツールです。福祉の現場や地域の活動に、これからも新しい可能性を広げてくれそうです。

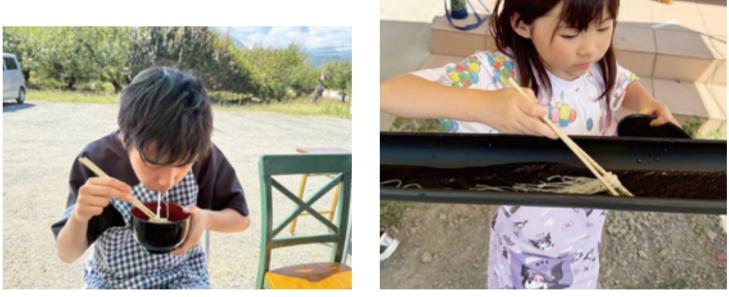


TOPIC
2 あそぼ
あそびやレクを通じて、楽しく学べる療育プログラムを提供します。

親子であそぼ～流しそうめん～

昨年の「夏の親子であそぼ」では、毎年恒例の流しそうめんを実施しました。そうめんだけではなく、トマトやマスカットなども流し、子どもたちはそれぞれのペースに合わせて、食べることや活動そのものを楽しみながら参加することができました。活動の中では、普段なかなか顔を合わせる機会の少ない保護者の方同士が自然と会話を交わし、和やかな交流の時間となりました。昨年も、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、楽しく思い出に残る活動を行うことができました。

今後も、子どもたちがワクワクし、楽しみながら多くの経験ができるような活動を取り入れていきたいと考えています。



りずみく



焼きいも大会



クリスマス会



初詣

アート活動紹介



パペットが
コミュニケーションの
きっかけに!

